

生成 AI の利用について

1. 生成 AI とは

ChatGPT、Bing Chat、Bard などは対話型生成 AI と呼ばれ、指示文（プロンプト）を入力すると、あたかも人間と自然に会話をしているかのような回答が得られます。

これらの AI は、あらかじめ膨大な量の情報を学習し、構築したデータベースを基に、ある単語や文章の次に来る単語や文章を推測し、「それらしい答え」を生成するという仕組みになっています。そのため、**文脈と無関係であったり、間違った内容の回答が出力されたりすることがあります**。生成 AI を利用する際は、得られた回答をそのまま信じてしまふのではなく、**最後は自分で判断する、という基本姿勢が必要です**。

また、AI がどのようなデータを学習し、回答しているかが明らかにされていない部分があることや、機密情報の漏洩や個人情報の不適正な利用、回答の内容が偏っていることなどが懸念されるケースもあります。

2. 学校内・学校外での生成 AI の利用について

校内で生徒が生成 AI を利用した取組は、今後市教育委員会にて検討を進めていきますが、家庭など学校以外で生成 AI を利用する機会があるかもしれません。**学校外で利用する場合は、次のことに必ず留意してください**。

- ・各生成 AI の利用規約を守ってください。例えば、ChatGPT は 13 歳以上 18 歳未満が利用する場合は、保護者の承諾が必要となります。
- ・生成 AI の性質やメリット・デメリット、AI には自我や人格がないこと、生成 AI に全てを委ねるのではなく自己の判断や考えが重要であることを理解しておいてください。
- ・個人情報やプライバシーに関する情報を入力してはいけません。
- ・著作権を侵害することのないように注意してください。他人の著作物と類似していたり、他人の著作物をもとに創作していたりすると著作権侵害となる可能性があります。

3. 長期休業中の課題等について

長期休業中に読書感想文やレポート等が課題として出される場合、多くは AI の利用を想定せず、生徒が自分の能力を発揮して作成することが前提となっていますので、**生成 AI による生成物をそのまま自分の作品として提出することがないようにしてください**。このような行為は、活動を通じた学びが得られず、**自分のためになりません**。また、そうした作品をコンクール等に応募すると、**不正行為とみなされます**。

読書感想文やレポート等を作成する際は、次のような点に気を付けてください。

- ・自分自身の経験を踏まえた内容になっているか。
- ・これまでに自分自身が学習した内容を踏まえた内容になっているか。
- ・内容について、事実関係に誤りがいないか。